

情報研究

関西大学総合情報学部紀要

第1号～第10号 目次

第1号 (1995年3月)

- 岩田年浩
増田和夫 ……(1)
中村勝之
- 経済企画庁「世界経済モデル」の変遷とその批判的検討 ……
—貨幣需要関数を中心として—
- 亀井克之 ……(21)
- フランス企業におけるリスクマネジャー ……
—Gras Savoye社によるフランス主要企業のリスクマネジャーへの
アンケート調査 (1993) に基づいて—
- 施學昌 ……(55)
- 企業における情報技術の活用について ……
- 久保田賢一 ……(67)
- Literacy Campaign and International Cooperation : ……
Policy Analysis of Adult Literacy in Tanzania

第2号 (1995年10月)

- 亀井克之 ……(1)
- 損害保険市場におけるバンカシュランス戦略 ……
—フランス金融機関の損害保険市場参入戦略に関する一考察—
- 野口宏 ……(19)
- 情報化と労働価値論 ……
—情報労働とサービス労働の経済学的考察—
- 広兼道幸 ……(43)
- ラフ集合を用いた観測データからの知識獲得手法について ……
- Mayumi Kubota ……(65)
- Intentions to Use Electronic Mail: ……
A Test of the Theory of Reasoned Action
- Dr. Marilyn Deegan ……(87)
- Current Trends of Computing in the Humanities in England ……

第3号 (1996年1月)

- ハーバーマスとフェミニズム：理論的対話の可能性と意義阿部 潔(1)
- 情報興味空間の構造の分析西迫 成一郎(43)
森上 幸夫
桑原 尚史
- 矛盾の解決過程における自我関与の効果西田 晃一(52)
- Literacy Campaigns and Pedagogy of Paulo Freire:久保田 賢一(67)
A Comparative View on Literacy Campaigns in Brazil,
Nicaragua, Tanzania and Guinea Bissau
- Communicating Power in a Classroom久保田 真弓(84)

第4号 (1996年3月)

- 事故統計データから見た山岳遭難の実態青山 千彰(1)
——中高年者登山問題——
伊藤 俊秀
林 武文
- ネットワーク不正使用 ——ネットワークと法律——加藤 敏幸(27)
- 情報興味空間の収束性あるいは分節性について森上 幸夫(49)
西迫成一郎
桑原 尚史
- 自己の状況依存性と言語による分析の可能性木村 竜也(67)
西田 晃一

第5号 (1996年7月)

- 〈ひらかれたメディア〉の神話岡田 朋之(1)
——マルチメディア論の批判的検討——
- 政策終了理論に関する考察岡本 哲和(17)
- インターネットを利用したコミュニケーション：久保田 賢一(41)
電子メールとビデオ会議を利用したハワイとの交流活動
阿部 潔
Diane Masuo
Jean Hanna
- 情報化の展開と労働および組織の変容野口 宏(67)
——組織のネットワーク化のパーспекティブ——
- 自尊感情が情報に対する興味の方向性に及ぼす効果森上 幸夫(95)
西迫 成一郎
桑原 尚史

第6号 (1996年12月)

- 戦後日本における科学技術行政機構の成立岡本 哲和(1)
——科学技術庁の設立もしくは科学技術省構想の挫折——
- 自己意識特性が情報に対する興味の方向性に及ぼす効果西迫成一郎(31)
森上 幸夫
桑原 尚史
- 情報リテラシー教育に関する一考案西田 晃一(45)
——3つの入門実習の教育実践を比較して——
木村 竜也
辻 光宏
- 総合情報学部におけるコンピュータグラフィックス教育林 武文(85)

第7号 (1997年7月)

- 登山地図の表記法ならびに登坂速度の検討青山 千彰(1)
- 組織情報の思潮阿辻 茂夫(23)
— C. I. バーナードの組織思想から導かれるもの—
- 電子メディア/ネットワークを巡る言説のポリティックス阿部 潔(37)
— 「テクノロジーによる呼びかけ」としてのネティズン—
- P S Aと電気自動車亀井 克之(75)
- 情報興味空間の状況依存性あるいは状況独立性について西迫成一郎(99)
森上 幸夫
桑原 尚史
- 感性情報処理のシミュレーションに関する基礎的研究吉田 宣章(111)
桑原 尚史
西本 秀樹
堀井 康史
山内 昭
- 故川口正昭教授 略歴および研究業績(139)
川口正昭先生を悼む高木 教典(148)

第8号 (1997年12月)

- 会話研究の展望 (I)桑原 尚史(1)
— 会話行為の社会的文脈への位置づけ—
- グローバル情報ネットワークと産業社会野口 宏(13)
- Un point de vue sur la création des besoins dans le marketingKatsuyuki KAMEI(51)
- The Homotopy Continuation Method and theTakashi SHIOMURA (61)
Walrasian General Equilibrium Theory

第9号 (1998年7月)

- 震災時における新聞記事構成の特徴と問題点青山 千彰(1)
- 開発シミュレーション：
その理論と実践.....久保田賢一(23)
- 日本語会話にみられる『共話』の特徴久保田真弓(53)
—日本人とアメリカ人によるあいづち使用の比較から—
- 対人感情が会話方略に及ぼす効果桑原 尚史(75)
—会話規則適用過程の検討—
- A Homotopy Method for a Comparison
between a System and its Subsystem**SHIOMURA Takashi (87)
- 動的立体視メカニズムの研究—VR技術を用いた
実験システムの構築林 武文(103)
乾 敏郎
- Willingness to Communicate in a Foreign Language :
A Preliminary Study**YASHIMA Tomoko (121)

第10号 (1998年12月)

- 組織複雑系の基本問題阿辻 茂夫(1)
- 政府情報システムの民間委託—我が国における地方自治体のケース—...岡本 哲和(13)
- 連結情報中心のディスクロージャーへの移行に関する—考察北島 治(43)
- デジタル経済と新しい産業像野口 宏(57)
- [資料]
法律オンラインデータベースLEXISの利用について加藤 敏幸(81)
沼田左弥香
中田 光顕